



もいんのあしあと

岡山県健康の森学園支援学校
令和8年 7月 22日発行

青々としていた木々の緑も深まり、いよいよ夏本番の暑さがやってきました。保護者の皆様には、日頃より温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。おかげさまで、無事に1学期の終業式を迎えることができました。行事や校外学習など、児童生徒がそれぞれの目標に向かって一生懸命がんばる姿は本当に輝いていました。毎日の学校生活の中で「できた！」が増え、誇らしげな笑顔を見せてくれるたびに、私たち教職員もたくさんの元気をもらいました。

夏休み中、暑い日が続きますので、皆様どうかお体に気をつけてお過ごしください。

「うれしい！」に込められた大きな自信
～本物の体験が生徒たちの心をたくましく育てる～

7月8日（水）、本学園のアンテナショップ「森のおみせ」が開店10周年を迎え、10日（金）との両日、記念イベントが開催されました。金曜日は高等部の生徒が接客を担当する日ということもあり、生徒2名が張り切っておもてなしを行いました。

店内は、お越しくださったたくさんの地域のお客さまで大賑わい。少し緊張した様子を見せつつも、生徒たちは一生懸命心を込めて接客をしていました。私が「お客さんがたくさん来てくれているけれど、どんな気持ち？」と尋ねてみると、生徒は少しも迷わずに「うれしい！」と、とびきりの笑顔で答えてくれました。その表情はとても晴れやかで、自信に満ちあふれていました。

「自分の接客でお客さんが喜んでくれた」「自分たちの作った製品を買ってもらえた」という実感は、実際の販売活動を通してお客さまと直接向き合うからこそ得られる、特別な体験です。校内だけでは学べない、この「**本物の体験**」が生徒たちの心に灯した自信の明かりは、これからも彼らをたくましく成長させてくれる大切な宝物になると感じています。

一人ひとりの「うれしい！」「できた！」という経験は、高等部卒業後、社会という新しい世界で**自分らしく生きていくための大きな糧**となります。自分の中にあるこの「自信の芽」を大切に育みながら、これからも自分のペースで未来へ向かって歩み続けていってほしいと願っています。

